

## ■令和5年7月27日 建設委員会 県内調査

### I 中町「道の駅」整備事業地（奈良市中町・石木町）

#### 【調査項目】

令和5年度末のオープンを目指して整備が進められている中町「道の駅」整備事業地の事業進捗確認

#### 【調査概要】

中町「道の駅」整備事業地を訪問し、道路建設課及び営繕プロジェクト推進室より、事業の説明を受けた後、現地を調査した。

#### <概要>

所在地：奈良市中町・石木町

面積：約3.4 ha

施設：駐車台数257台、建物4棟、バスターミナル、芝生広場

公募により、名称は「クロスウェイなかまち」と決定した。

#### <中町「道の駅」の特徴>

「防災道の駅」として、全国で39駅が令和3年6月11日に初めて選定されたが、その中に、中町「道の駅」も含まれている。耐震化や無停電化された施設、災害時に支援活動が可能な約1万㎡の駐車場、救援物資の備蓄倉庫を備える計画等の防災機能を持った道の駅としての整備が進められていることが大きな特徴といえる。

#### ○地域振興機能

周辺地域の農産物を取り扱う直売所、レストラン、カフェを運営

#### ○公共交通の結節点機能

観光バスや路線バスが利用できるバスターミナルを整備

#### ○地域観光のゲートウェイ機能

周辺地域だけでなく中南和地域も含め観光資源等の情報を発信

#### ○防災機能

災害時に備え、非常用発電を完備（72時間発電）

災害時に警察、消防、自衛隊等の支援活動が可能な駐車場を整備

防災倉庫を備えるとともに、すべての建物を耐震化

<質疑応答>

- Q. 防災拠点としての具体的使用イメージはどのようなものか。
- A. 自衛隊の応援部隊のベースキャンプとして予定している。
- Q. 建物が三棟に分かれているが、うち1カ所の北東棟にしかお手洗いが無い。雨の日など天候の悪いときには傘を差して建物間を移動しなければならないのか。
- A. 建物は繋がっていないため、雨天時は傘が必要になる。
- Q. 敷地内にドッグランを整備することだが、県内の他の道の駅でドッグランを整備している駅はどれくらいあるのか。
- A. 今のところ他ではないため、道の駅「クロスウェイなかまち」が初となる見込み。



## Ⅱ 広瀬川 河川改修／平成緊急内水対策事業地（北葛城郡広陵町大場）

### 【調査項目】

広瀬川の河川改修及び平成緊急内水対策事業地の工事進捗確認

### 【調査概要】

北葛城郡広陵町大場の広瀬川河川改修／平成緊急内水対策事業地を訪問し、高田土木事務所及び河川整備課より、工事概要の説明を受け、現地を見学した。

### <事業の目的>

現況の河道断面が狭小なため、流下能力が著しく不足しており、広陵町内において、過去複数回の浸水被害が発生したことから、広陵町内の浸水被害を軽減するため、流下能力として10年確率における治水安全度（約50mm/h規模）を確保し、曾我川合流部においては計

画流量（計画高水流量） $35 \text{ m}^3/\text{s}$  を確保すべく河道断面の拡大（河道拡幅、河床掘削）を実施している。

< 広瀬川河川改修事業の概要 >

- 平成23年3月に大和川水系河川整備計画を策定
- 整備計画延長 約4.0 km
- 計画流量  $35 \text{ m}^3/\text{s}$ （10年確率）

< 平成緊急内水対策の概要 >

- 内水による床上・床下浸水被害解消に取り組む市町に助成
- 事業主体は市町、県内19カ所で事業実施。令和5年7月時点で3カ所は完成済。
- 本事業地では、広瀬川調整池として43,600 $\text{m}^3$ の内水を貯留する予定。
- 令和5年6月出水において、完成箇所においては、浸水被害が大幅に低減された。

< 広瀬川調整池整備事業 >

○事業概要

貯留量：43,600 $\text{m}^3$

流域面積：99,000 $\text{m}^2$

全体事業費：954百万円

事業主体：広陵町



### Ⅲ 京奈和自動車道（大和御所道路）新堂ランプ（橿原市）

**【調査項目】**

京奈和自動車道（大和御所道路）新堂ランプ整備事業地の事業進捗確認

## 【調査概要】

京奈和自動車道（大和御所道路）新堂ランプ整備事業地を訪問し、奈良国道事務所より、事業の説明を受けた後、現地を調査した。

### <大和御所道路の概要>

大和御所道路は、京都、奈良、和歌山を結ぶ延長約120kmの高規格幹線道路（京奈和自動車道）のうち、大和区間と御所区間で構成される延長約27.2km。

平成24年3月に橿原高田インターチェンジから御所インターチェンジが開通。

平成27年3月に御所インターチェンジから御所南インターチェンジが開通。

平成29年8月に御所南インターチェンジから五條北インターチェンジが開通。

令和8年春（仮称）橿原ジャンクションの大阪方面接続ランプ部分開通を予定しており、大和高田バイパス（大阪方面）へ直接接続されることから、新堂ランプ交差点の混雑が緩和され、利便性の向上が見込まれている。

現在、大和御所道路においては、橿原北インターチェンジから橿原高田インターチェンジ間の橋梁工事等を推進している。

また、京奈和自動車道の整備率は、奈良県域の全体延長約48kmのうち、61%（約31km）が開通済である。



### <質疑応答>

Q. 先日、静岡の国道で建設中の高架橋の橋桁落下事故があったが。

A. 通常の工事では起こりえない事故かと思う。

Q. 監理技術者の配置はされているか。

A. 各工区において、専任で配置している。